



大谷地だより

Vol.69

発行
北星学園大学同窓会
札幌市厚別区大谷地西2-3-1
TEL (011) 891-2731
発行責任者 松倉 千春
編集責任者 事務局 編集委員
印刷 北海道リハビリ



日高嘉彦 チャブレン



松倉千春 会長

去る十月十二日、二〇一二年の北星学園大学同窓会総会・発足五〇周年記念懇親会が札幌パークホテルを会場に開催されました。当日は、午後四時三十分から二階パールのームにおいて、定期総会が

同窓会総会・懇親会開催

～北星学園大学同窓会発足50周年記念懇親会を開催！
多くの同窓生の出席と在学生の参加で盛大に！～

のものと、日高嘉彦チャブレンにより讃美歌斉唱と聖書拝読がなされ、最後に祈祷が行われました。その後、松倉千春同窓会会長、酒井玲子理事長（樋田繁治郎事務局長による代読）、田村信一学長の挨拶、北野義城さん（第五代同窓会長）の乾杯で宴を開始しました。大学と短大の各学科の同窓会会員をはじめ、退職された教員の新谷光二先生、矢口以文先生、石川恒夫先生、小野寺



行われ、松倉会長による開会の挨拶の後、議長に中村一寛さん（一九七一年経済学科卒）、書記に大野秋奈さん（二〇〇九年生活創造学科卒）を選出し、次の三議案について協議されました。議案一「二〇一二年度活動報告・会計決算報告及び会計監査報告について」は、それぞれの担当者から説明・報告がなされ、提案どおり了承されました。また、議案二「一三年度活動計画・会計予算について」も、原案どおり了承されました。議案三「役員改選について」は、原案どおり了承され、副会長には幹事の江口隆男さん（一九七二年経済学科卒）と森谷恭一さん（一九七八年英文学科卒）が新たに就任されました。



田村信一 学長



忍 博次 先生



北野義城 元会長

総会終了後、地下二階パークプラザに会場を移して懇親会が開催されました。司会の高橋麻里子さん（一九八七年英文学科卒）の進行のもと、日高嘉彦チャブレンにより讃美歌斉唱と聖書拝読がなされ、最後に祈祷が行われました。その後、松倉千春同窓会会長、酒井玲子理事長（樋田繁治郎事務局長による代読）、田村信一学長の挨拶、北野義城さん（第五代同窓会長）の乾杯で宴を開始しました。大学と短大の各学科の同窓会会員をはじめ、退職された教員の新谷光二先生、矢口以文先生、石川恒夫先生、小野寺

による司会、演舞同好会によるよさこい、チャダンス部によるチャダンスが披露されました。元気に満ちた笑顔や素敵な踊りと司会には、ご出席いただいた同窓生からも笑顔がこぼれていました。その後、今年度の同窓会表彰授与が行われました。同窓会活動に長く寄与され当日ご出席の中村一寛幹事、千歳支部本藤久さん、樋田武俊釧路支部長の三名が表彰され、松倉会長から表彰状と記念品が授与されました。続いて、今年度奨励生四名の紹介がなされました。そして、今回は同窓会発足五〇周年記念事業の一環として同窓会旗が製作されました。デザインの募集から始まり、本部の旗及び支部の旗の製作を行いました。本部の旗は生地の違いにより製作に係る期間が長期に亘り、残念ながら、今回お披露目することはできませんでしたが、各支部の旗については出来上がり、各支部長・支部長代理

卒業おめでとう
—希望は失望に終わらない—
同窓会長 松倉 千春
を目標し、東日本大震災、取り分け福島原発神話の欺瞞をも体験的に知るところとなりました。大地を揺るがす災害に、なす術もなく佇む人々の姿と光景は余りにも生々しく私達の記憶の中にあります。昨年の十月に同窓会発足五〇周年記念行事を行いました。席上、私は「これから一〇〇周年に向けて同窓会がそれに伴う質的变化を遂げ、若い皆さんに引き継ぐ力が重要である」と発言致しました。北星学園大学も五〇周年の時を経て、今や大規模な大学となつていますが、世は大規模を目指しながら、逆にそれを嫌う小規模を求める勢力も強くあります。「奢れる者は、久しからずや」と何か、「多数は、真実か？」と教わったのはいつの日だったのか？ 私は、今でもこの問いに、自分自身に答えられていない。第一期卒業生は、既に現役を退き七十才を過ぎ、皆

による支部活動報告の後、会長から支部ごとに旗を贈呈いたしました。終始、和やかな雰囲気の中で、樋田喜久雄支部長による乾杯が行われ、盛会のうちに今年度の懇親会を終了することができました。今年度も同窓生の皆様をはじめとする関係者の方々の温かいご支援のもと、無事に総会・懇親会を開催できました。心より感謝申し上げます。次回の総会・懇親会は、十月十八日（土）に開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



樋田繁治郎 事務局長



50 HOKUSEI



まず始めに、放送研究会の小野寺さんに司会を交代し、アトラクションが始まりました。

アトラクションと各支部への同窓会旗授与の様子

文章だけでは、伝わりづらい在学生によるアトラクションと各支部への同窓会旗授与の様子を写真にてお届けいたします。



演舞同好会の紹介の後、「よさこい」が披露されました。今回は、少人数での編成ながら迫力は満点。華やかな衣装での力強くも華麗な舞に観覧している同窓生は魅了されていました。



続いて、チアダンス部「STARRYS」の紹介の後、チアダンスが披露されました。糸乱れぬラインダンスと元気に満ち溢れた笑顔は、見ているこちらが元気づけられました。



30分という短い時間の中で行われたアトラクションでしたが、北星の今を知るいい機会になったかと思えます。また、支部同窓会旗の贈呈は各支部へ行われました。紙面の都合上、すべての支部を載せることは叶いませんでした。ご了承ください。

50周年 事業を終えて

「確信」と「希望」

五〇周年記念事業検討委員 駒ヶ嶺剛史

私が今回感じたことは、自分が北星学園大学の卒業生で良かったという「確信」と、これからもっと我が母校は良くなっていくだろうという「希望」です。

まず、幹事になって一年目の私を五〇周年という節目の記念事業の委員として受け入れて下さった会長に感謝しています。また、会

議では、立場も年齢も関係なく相手を受け入れ認め合う雰囲気の中、同じ卒業生として何かのためになろうという気持ちで溢れるものであり、検討委員全員の未来へ向かう気持ちと同じ方向を向いていることを感じられるものでした。やはりこれは国際性豊かでお互いを受け入れ合っている北星

い力を感じました。社会に対する貢献が必要とされているこの時代に、北星学園大学は必ず必要となり、そして、その大学を支える同窓会はとても大きな意味を持つと思います。卒業生のために、在学生のために、そして地域社会の未来のためになるように大学をサポート出来る同窓会になるよう自分が幹事になった意味をもう少し自分自身でも掘り下げ、これからの幹事としての仕事につなげていきたいと思います。

就任の挨拶

北星学園大学同窓会副会長 就任にあたって

北星学園大学同窓会副会長 江口 隆男

北星学園大学(経済学部 経済学科)を卒業して四十一年が過ぎ、縁あって同窓会副会長に抜擢され身が引き締まる思いがしております。

思えば一九六八年(昭和四十三年)入学当初、学園内の環境は決して満たされたものではなかったものの、学園生活は様々な変化に満ち有意義に過ごせた事を記憶しております。

社会人として必要な忍耐力・気力・体力・協調性の基礎が付された様に感じしております。

現在は大学卒業後の仕事を終え、第二の人生で札幌市の事業に参加させて頂き今日に至っております。

特にプレハブ棟舎でのサークル活動では、多様な人々との交流があり、後に

接点がなかった者として多少の戸惑いはありましたが、「他山の石、以て玉を磨くべし」(他の失敗したこと

就任の挨拶

新任あいさつに添えて

北星学園大学同窓会副会長 森谷 恭一

早いもので、北星学園大学を卒業しておよそ三十七年の年月が立ちました。縁があつて、五年ほど前から同窓会の幹事をさせていた

の打ち合わせで訪れる機会があり、その時に学内を歩くたびに学生時代の思い出が脳裏にシンクロナしてきます。今ほど建物が多くはなく、周りは緑に囲まれ、夏の軟式テニス部の強化練習で昼休みにチャペルでうた

た寝をした思い出等が、今日のように思い起こされます。北星を卒業された諸先輩、後輩の皆さまもそれぞれが北星での青春時代の大切な時の一ページをきつとここに大切にしまっていることでしょう。これから

も自分たちの母校が光り輝いていることは、誇りであるとともに力にもなってくれるでしょう。同窓会は、大先輩の方々とこの架け橋となつて、お役に立てることができればと願っております。その中で若輩、未熟な者ですが少しでもお役に立てるよう努力して参りますので、よろしくお願いたします。

支部だより

旭川支部 平成二十五年度 活動を顧みて

旭川支部長 上杉 信一



設立三十一周年北星学園大学同窓会旭川支部の総会、懇親会を平...

帯広支部 帯広支部の活動を振り返る

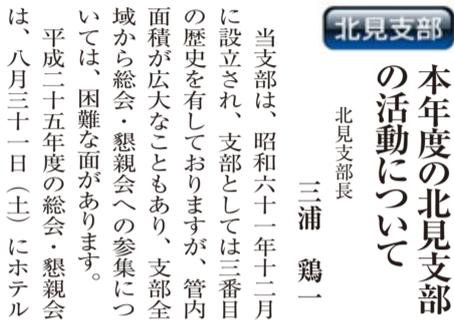
帯広支部 副支部長 成田 啓介



二〇一三年九月七日(土)定期総会並びに懇親会を帯広市内「ふ...

北見支部 本年度の北見支部の活動について

北見支部長 三浦 鶏一



当支部は、昭和六十一年十二月に設立され、支部としては三番目...

東京支部 「持続こそ力」

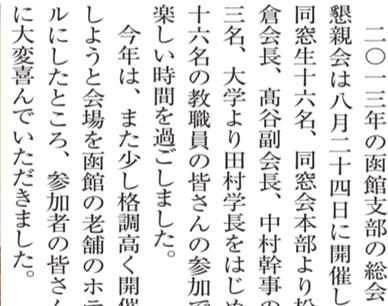
東京支部長 遠田 嘉憲



二十六年目を迎えた東京支部は、大学五〇周年記念行事への参...

函館支部 二〇一三年 函館支部の活動

函館支部長 畑中 博史



二〇一三年の函館支部の総会、懇親会は八月二十四日に開催し...

釧路支部 釧路支部から

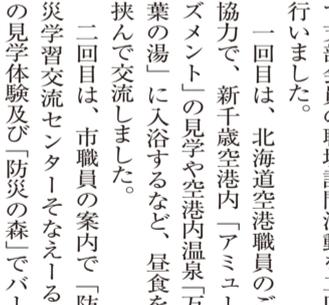
釧路支部長 楠部 武俊



卒業おめでとう!! 釧路支部は釧路市・根室市の二市と別海町・中...

千歳支部 支部会員職場訪問

千歳支部長 ニツ川憲昭



昨年、当支部初めての試みとして支部会員の職場訪問活動を二回...

Table with 2 columns: Branch Name and Date. Lists reunion dates for various branches like 旭川支部, 帯広支部, etc.

Table with 2 columns: Branch Name and Contact Info. Lists branch names and contact details for various branches like 旭川支部, 帯広支部, etc.

同窓会事務局 北星学園大学 総務課内 竹島、山下、大野 (011) 891-2731



千歳支部の職場訪問の様子

新企画プロジェクトからのご案内

講演会・コンサート等も回を重ねる毎に、多くの皆さまのご参加をいただいております。これからも一層充実した内容に向けて努力したいと考えております。今後とも皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

スプリングコンサートの申し込み方法について

受付開始日は5月1日(木)です。「スプリングコンサート参加希望」とお書きになり、氏名、連絡先電話番号、参加希望人数を明記の上、ハガキ又は電話、FAX、Eメールでお申し込みください。その時点で受付となります(当日の参加も歓迎しますが、会場の都合上事前にお申し込みください)。

申し込み・問い合わせ先

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1 北星学園大学同窓会事務局 同窓会プロジェクト係 TEL:011-891-2731 FAX:011-892-6097 e-mail:dousoukai@hokusei.ac.jp

友人・知人の方もぜひお誘いください。なお、小さなお子さんの入場はご遠慮ください。

スプリングコンサート

広島交響楽団ヴァイオリニストの盛田恵さん、岡田ミサコさん(ピアノ)、加美みきさん(ソプラノ)の息の合った3人が本学にやってきます。どうぞご期待ください。

日時:2014年5月24日(土)午後3時から 会場:本学チャペル



盛田 恵



岡田ミサコ



加美 みき

プロフィール

盛田 恵 (ヴァイオリン) 京都市立芸術大学卒業後、広島交響楽団に入団し、現在に至る。最近、アンサンブル演奏やソロ活動も積極的に進めている。故奥平弘和氏、岩淵龍太郎氏に師事。日本弦楽指導者協会会員。

岡田ミサコ (ピアノ) 京都市立芸術大学卒業。エリザベト音楽大学大学院修士課程修了。ハンガリーのコダーイ弦楽四重奏団との共演など、ソロ、アンサンブル両面において活動している。日本ピアノ教育連盟会員。

加美 みき (ソプラノ) 広島交響楽団員の両親の元に生まれ、幼少からピアノとヴァイオリンの英才教育を受ける。広島音楽高校声楽科を卒業。最近、ボランティア演奏活動をしている。小畑佳子氏に師事。

プログラム

- マスネ: タイスの瞑想曲
モーツァルト: ヴァイオリンソナタ第28番ホ短調K304
カッチーニ: アベマリア ほか

講演会報告

「現代人の生き方や命について」



去る九月十四日(土)午後二時より本学A教室にて、田口ランディさん、向谷地生良さん講演会を開催致しました。田口ランディさんには二〇〇九年九月にもお越しいただき、再度の来学でした。前回お聴きいただいた方や彼女の読者が数多くいらして下さいました。宮城県蔵王町からおいでいただいた方もいたのです。田口さんは自分の弱さをさらけ出し、人の距離感を考え、ある意味ダラダラとユーモアを持って人との関係を築いていくのが人間関係のポイントと話されましたが、その点に共感された方がたくさんいらしたことがアンケートからうかがえました。また、「感情的小ウソはつかない」「死んだ家族の上に自分の立っている場所があり、彼らから養分をもらって生きていく」という言葉が印象に残りました。田口さん、向谷地さんの対談形式で講演が進行しましたが、それについては色々な意見が寄せられましたので、ご紹介いたします。「話に打ち合わせ感がない故に、対話が「生きもの」になると感じられてよかった」、「来場者を参加させる対談はよかったと思います。参加させる工夫が物足り

収支決算・次年度予算報告

Table with financial data for 2012 and 2013, including income and expenses.

2013年度 会計予算(案)

Table with financial data for 2013 budget, including income and expenses.

コンサート報告

「空の声、風の記憶」

去る十月二十日(日)午後二時から、野花南とユライのジョイントコンサートを開催しました。第一部では野花南の「天の風」を皮きりに嵯峨治彦さんの馬頭琴とたなかたかさんのゆったりと心地よい語りのハーモニイで三曲終わる頃には、すっかりモンゴルの世界に浸っていました。続いて、ユライの「風の砂漠の祈りうた」等で、慧奏さんの民族楽器とえまさんの独特な声、高い歌唱力により、大自然の中へと誘われました。



野花南&ユライコンサート

コンサート報告

「古楽器によるバロック音楽の典雅な響き」

十二月八日(日)午後二時より本学チャペルにてムジカ・アンティカ・サツポロ(古楽の九名によるクリスマスコンサート)を開催しました。前半はヴィヴァルディ「調和の靈感」作品三より、テレマン「食卓の音楽」より協奏曲、後半はコレッリ、ヘンデル、ヴィヴァルディの「合奏協奏曲」の数々。ヴァイオリンやチェロの華々しいソロ、力強い総奏、多彩なリズム、高度なテクニクなど魅力溢れる構成でした。「バロック当時、ライプツィヒの人気投票で、一位がテレマン、二位がヘンデル、そして七位がバッハだった。ガット弦(羊や牛の腸を乾燥させて燃り合わせた自然素材)が使われた。古楽器は貴族のための楽器で、それ程大きな音



なかつたと思います。ありきりの質問形式で進行したところを、もう一人進行司会係りを加えれば、盛り上がったはず、「一人三十分ずつ講演していただいて、その後、話題を絞って対談を進め、纏めてほしかった」。

その他、さまざまな率直な意見が聞かれました。ありきりの質問形式で進行したところを、もう一人進行司会係りを加えれば、盛り上がったはず、「一人三十分ずつ講演していただいて、その後、話題を絞って対談を進め、纏めてほしかった」。

田口さんはベテルの家の実践を非常に評価されていて、向谷地さんとの信頼関係が実感できる講演会でした。弱さをさらけ出しあえることが互いの境遇の分ちあいに通じ、結果としてよい社会の創出に繋がるといふ、お二人の経験から導き出された「結論」が、心に響きました。

は、野花南とユライが郷愁溢れる旋律を奏で合い、空の声と風の記憶を静と動で表し、経験したことのない不思議な空間に魅了されました。特に、即興コーナーでの入場者の「空」と「風」に関する三行詩と民族音楽との美しい共鳴が印象的で、心に残る素晴らしいコンサートとなりました。

「古楽器によるバロック音楽の典雅な響き」がなくなってもよかった」など参考になるお話も伺うことができました。チェンバロ、チェロ、コントラバス、ヴァイオリン、ヴァイオラの九名それぞれの奏でる音が雅な懐かしい響きとなつて、バロック音楽を満喫できました。

大学生生活を振り返って



稲垣真依子
経済学部
経済学

四年間の大学生活はすべてが新鮮で、あっという間に過ぎていきました。これまでは、周りから与えられた事をただこなしてれば許されましたが、大学生になり自分で考え選択し行動する必要があると感じました。

一人暮らしを始め、興味のある授業で時間割を作り、アルバイトを始め、遊びに行く行動範囲もぐんと広がりました。それは、とても刺激的で充実したものでありましたが、自分で決めた事をやり遂げなくてはならない責任も生まれました。私は、将来公務員という道

を考えていたので、アルバイトでの給料を貯めて講座に通い、三年生になってからは勉強の毎日でした。勉強をやめても怒る人は誰もいないので、自分が何をすべきか自分で判断する必要がありました。何度も諦めたりしましたが、結局最後まで頑張るといって選択をし、無事合格する事ができました。

大学生活を振り返ると、失敗した事もたくさんありましたが、それでも、私が選択した道を心から応援してくれる人がたくさんいました。この四年間で私は本当にたくさんの人に支えられているのだと、改めて実感しました。これからも様々な人との関わりを大切にしたいです。

「まだやれる」を実践



飛島秀信
応用心理学部
心理コミュニケーション

大学入学直後から部活動(少林寺拳法)には打ち込んでいましたが、自分の学科(心理)に魅力を感じ始めたのは二年の冬から春にかけて参加した「大谷地スノーフェスティバル(通称:ヤチフェス)」と学科公式行事の「新入生歓迎会」がきっかけでした。先輩、後輩関係なくスタッフが一体となり、参加者を楽しませようとする姿勢に感動しました。二つのイベントに参加することで交流の幅が広がりました。の良さがなんとなくわかっていきました。

濱ゼミに入り、卒業研究はヤチフェスを選択。スタッフとしての作業とリーダーとしての仕事には天と地ほどの違いがあり、苦労と悩みの連続

でしたが、最後に小学生から「楽しかった」という声をいただくことができました。演習生から「リーダーとしてよくやった」と言われた時の嬉しさは今でも鮮明に覚えています。

卒業一言

四年間を振り返って



広瀬 遥
社会福祉学部
福祉臨床学科

私にとって大学生活は、多くの出会いと実現の四年間で満ちた。振り返ると、これまで漠然と考えていた夢ややりたい事を一つずつ形にする事が出来、充実した時間を過ごすことが出来ました。途上の子どもを支援したり、被災地復興のボランティアに行きたかったと関わってみたい、行った事ない場所に行きたいなど小さな事ですが、自分が考え、計画して実現できたことは自分の自信に

つながるものでした。児童養護施設の実習で出会った子ども達は、私が指導員として働くことに決意するきっかけを作ってくれました。また、色々な事に挑戦する仲間や社会人である先輩方から沢山の刺激をもらい、自分が何か迷っている時は「やりたいことをやらないうんてもったいない」という言葉が頭に浮かぶようになりました。最後の卒業論文と国家資格の試験勉強は本当に辛かったです。毎日図書館へ通い、毎日同じ学科の仲間たちと顔を合わせ支え合いながらなんとか乗り越えることが出来ました。毎日皆に会える事が私のエネルギーになっていました。この四年間の中で自分のやりたい事を実現できたのは、家族仲間、学校や先生など多くの方々のおかげです。ありがとうございました。

最高の二年間



石川華帆
短期大学部
生活創造学科

私にとって短大生活は、多くの友人に恵まれ、様々なことに挑戦でき、とても思い出深い二年間となりました。短大入学と同時に一人暮らしを始め、今までとは全く違った生活に戸惑うことは多々ありましたが、毎日が充実した日々でした。

短大で一番印象深く心に残っていることは、年に一度行われる生活創造学科の伝統行事であるスポーツフェスティバルで実行委員長を務めたことです。学科全体にとつての思い出となって欲しいという気持ちで企画から準備に取り組みました。実行委員や先生方、職員の皆さまの協力のおかげで成功に導いたときの感動や達成感忘れられません。

また、サークル活動として吹奏楽部に所属していました。私はかなり遅れての入りでしたが、合宿やたくさんの方々の演奏会に参加することができました。とくに定期演奏会が最大行事で、その中でもソロパートを必死に練習し、本番も堂々と演奏することができたのは良い思い出です。いつも優しく、時に相談にも乗ってくれた部員のみなさんには感謝の気持ちでいっぱいです。

退職教職員一言

退職にあたって



賀明子
社会福祉学部 教授

私は一九八六年に社会人入学で社会福祉学部に入り、一九九〇年に卒業しました。北星学園大学の事務(今の学生支援課)の方々には奨学金でお世話になるなど、よくしてもらいました。でも残念なことに、若い学生とは異なり、家庭人としてたくさん役割を担っていた私には学生生活をエンジョイする余裕はなく、当時の若い同級生の顔をあまり思い出すことができません。私には忘れることができないエピソードがあります。卒業後の就職はどうなるのか不安だった時、当時、忍教授は「看護婦は看護婦に、主婦は主婦に戻るしかないよ。主婦は職業的にみれば、サビなのでサビ落としに同じ年数かけなくてはならないね(多分、こんな感じで言われたような気がします。忍先生、間違っていたらごめんなさい)」。この言葉どおり、三年間の専業主婦を経験した私は、学部を入れるとほぼ十三年間、学びのために

時間を費やしました。私が北星学園女子短期大学に職を得たのは二〇〇〇年四月でした。大学に職を得ることは私だけでなく、周囲のだけれもが奇跡だ！と感じていたので、決して優等生でもなく、大学の教員になることを目標としていたわけでもなく、ただひたすらサビ落としに精を出していたのですから。当時北星学園大学には大学院がありませんでした。また私にはどうしてもっと勉強した理由がありました。学歴コンプレックスから抜け出したという強い思いです。また社会福祉のいう応用の学問ではわからない社会のしくみを社会学の視点から学びたいという思いもありました。北海道大学大学院へのチャレンジは、学びの挫折を味わう初めての経験となりました。当時北大には社会人入学制度はなく、若い学生と同じく、第二外国語まで受験に含まれる厳しいものでした。しかし二浪の末、学びの機会は与えられました。そしてフルタイム職十三年と特別専任職一年の十四年間、大学の教員として勤めあげることができました。この場を借りて、北星学園大学のこれからの一層の発展と同窓会の方々のご健勝をお祈り申し上げます。

感謝と新たな歩みに期待



猪熊隆史
就職支援課

昨年四月の「キャリアアゲインプログラム」の折に、就職支援課の全員が壇上に立って、大学三年次及び短大一年次の学生の皆さんに自己紹介をする機会がありました。私は「皆さんが卒業する年に定年を迎えます。同期生ですのでもよろしくお願ひします」と挨拶。その時点では何とか定年まで勤めたいという思いがあったのですが、病後の健康状況から一年早く(あるいは五年早く)かもしませんが「卒業(退職)させていただくことにしました」。

一九七八年八月に入職、以来ほぼ三十六年。この間、入職時の大学・学部事務室をはじめとして、主に大学の教務、学務、教育・研究支援、学生支援及び就職支援という業務を担当させていただきました。学生をはじめ、教職員、父母や同窓生の方々も直接関わることが多く、また、入試では受験を控える高校生や進路指導等の先生方、就

職では企業の採用担当等の方々、もとより他大学の方々の交流もあり、多くの方々に大変お世話になってきたことを感謝しております。中でも、同窓生の方々とは、職場の内外、役員会や総会、また各地区で開催される支部の総会・懇親会で交流させていただきましたが、ご恩に報いるほどの役割を果たすことができたかどうか気がかりです。また、同窓生の方々の中には私の友人・知人をはじめ、そのご子息の方々もいらっしゃいますが、いつもそのご縁には感謝するばかりありませんでした。

大学は二〇一二年に開学五〇周年を迎え、新たな歩みが進められています。昨年秋季には一九七八年に建築された旧C館が役割を終え、目下新築工事が進められているところですが、私は数年来いくつかのご縁を不思議に感じながら、自らの退職を旧C館になぞらえて役割の終了と考えることにいたしました。そして四月からは健康回復を第一に考え、先輩職員の方々と同様に北星学園の発展をより長く見守ることができれば幸いです。念願しているところです。最後にになりましたが、どうか同窓生の皆様が今後ますます心から活躍されますよう心からお祈り申し上げます。

北星学園大学同窓会 役員名簿

*任期:2013年10月~2015年9月

本部関係			
職名	氏名	卒業年	職名
会長	松倉千春	69.3	社
副会長	高谷隆男	56.3	経
幹事	江森谷恭一	72.3	英
	栗山淑子	78.3	家
	佐藤桂子	57.3	家
	小中知江	65.3	短
	中村寛子	71.3	短
	有澤睦子	74.3	英
	斉藤美樹	74.9	経
	千穂地	75.3	経
	森博	79.3	経
	森雄	82.3	経
	池田雅	82.3	社
	北本佳	84.3	社
	宮内聡	87.3	社
	高橋幸	87.3	英
	白倉美	91.3	家
	佐藤剛	91.3	情
	鈴木克	91.3	情
	三澤信	95.3	情
	桐城太郎	96.3	情
	牧田浩一	97.3	社
	片岡徹	97.3	英
	山鹿貴	97.3	短
	幸坂希	01.3	英
	戸松真	02.3	情
	駒ヶ嶺剛	05.3	経
	馬場吾	06.3	情
	棟方修一	09.3	心
	北村修一	11.3	法
	佐藤一哉	11.3	計
	林孝	12.3	院
	沼田遼	12.3	法
会計監査	山内紀昭	92.3	社
	幸坂敬徳	92.3	社
支部関係			
職名	氏名	卒業年	職名
旭川支部長	上杉信一	71.3	経
副支部長	安田瑠子	67.3	短
副支部長	西岡将晴	98.3	経
帯広支部長	樋渡喜久雄	76.3	社
副支部長	進藤亘子	62.3	家
副支部長	成田啓介	90.3	社
北見支部長	三浦節	91.3	社
副支部長	三野本節	67.3	家
東京支部長	遠藤嘉	69.3	経
副支部長	斎藤翠	67.3	短
副支部長	篠原徳雄	73.3	経
函館支部長	藤原博	78.3	社
副支部長	亀井百合子	66.3	家
釧路支部長	柳山山俊	75.3	社
副支部長	横山みどり	81.3	家
副支部長	香西和則	84.3	社
千歳支部長	二ツ川昭	72.3	社
副支部長	森定	66.3	家
副支部長	川名早苗	78.3	英
副支部長	千葉	80.3	経

経済法学科

大学対抗法律討論会を終えて

経済学部 経済法学科 准教授 足立 清人

二〇一三年十一月二十三日(土)、第四回「大学対抗法律討論会」が本学にて開催されました。回を重ねるごとに参加大学・ゼミ(演習)が増え、今年度は、本学、旭川大学、小樽商科大学、北海学園大学から六ゼミが参加して、三試合が行われました。本学から

の参加は、長屋幸世准教授のゼミ、足立のゼミです。全国の法学系の学部・学科では、法律討論会は日常的に行われていますが、北海道内でこれほどの規模の討論会は見られません。

法律討論会とは、民法に関する事例問題について、各ゼミが原告と被告に分かれ、問題解決のための法律論を戦わせる対論形式の討論会です。長屋ゼミは小樽商科大学の林ゼミ、足立ゼミは小樽商科大学の南ゼミと対戦しました。法律教員からアドバイスをもらってはいいないことが、法律討論会のルール。学生たちは、十月一日の問



終了後の集合写真。スマイル!

題配布以降、一ヶ月半にわたって、普段の講義やゼミでは参照することがないほどの量の文献資料や判例を収集し、読み込み、理解し、問題の解決に頭を悩ませて、自らの主張を練りあげました。また、その作業をゼミで行うことからチームで勉強することの難しさに直面し、ゼミ内で激しい対立が生じることもあったようです。討論会当日、学生たちは、ジャッジを務める二人の教員の指揮のもと、観客が見守るなかで、緊張しながらも、自分たちの勉強の成果を主張しました。自分たちの考えをうまく主張できたり、できなかつたり、一喜一憂の繰り返しです。ひいき目かもしませんが、長屋ゼミ・足立ゼミともに、試合を優勢に進めることができました。試合終了後の問題検討会では、討論会参加ゼミの学生、各ゼミの担当教員、ジャッジを務めていただいた教員で、各ゼミの健闘を称え合い、交流を深めて、今年度の討論会も成功裡に終了しました。

学生は、法律討論会を経験することで、大学生に相応しい専門知識を習得し、チーム

での勉強・共同作業から、社会人基礎力(経産省が提唱する概念です)をも陶冶します。法律討論会に参加するのは原則、大学三年生です。学生は、法律討論会での経験を糧に、自信を持って、就職活動に臨んでいくこととなります。

これまでの活動実績が評価されて、今年度から法律討論会は、学部予算の補助を受けて開催できるようになりました。また、学科の先生方からも、多大なサポートを受けています。今後も討論会を継続して、多くの学生に門戸を開き、可能性開花のチャンスを与えていきたいと思っています。

本学の学生は、全国の大学の大学生にも決して負けない潜在能力をもっています。残念ながら、その活かし方を知らない、そして、積極性に欠けるところでは、経済法学科では、各学生の可能性を見出し、それが花開くための手厚いサポートを行い、学生の夢と希望の実現に手を貸していきたいと考えています。

(※法律討論会の様子は、経済法学科HPの学科ブログ「経法★What's New」でも紹介されています。)

同窓会章及び同窓会旗デザインが決定!!!

昨年、大谷地だより第67号でお知らせしました、「同窓会章及び同窓会旗デザイン案の募集」について、ついにデザインが決定し旗が完成いたしました!すでに前述の懇親会の風景にも支部への会旗が贈呈されている姿がありましたが、厳正な審査の結果、同窓会章及び同窓会旗のデザインが次のとおり決まりました。この会章は今後、印刷物等に活用していきます。

また、ご応募いただきました方々には厚くお礼申し上げます。

旗につきましては、本部の旗と7支部の旗、計8枚を作成いたしました。支部の旗は、こちらに掲載している千歳支部のように各支部の名前を入れて贈呈しております。今後、支部で行われる定期総会・懇親会の場でご覧いただける機会が増えるかと思えます。



同窓会章

同窓会旗



製作意図

同窓会札幌本部と7支部を象徴する計8つの星を組み合わせたデザインです。学舎(まなびや)を共にした同窓生どうしが手を取り合うさまを表現しています。北星のイメージカラーである深いブルーと、ライラック色で構成しました。

サークル活動ニュース

二〇一三年七月一日〜二〇一四年一月三十一日報告分

紙面の関係上、上位成績及び全国大会並びに、それに準ずる大会に出場したサークルのみを掲載しています。

アイスホッケー部

市民大会
準優勝

弓道部

札幌弓道連盟創立八十周年記念射会
準優勝 齊藤 真衣

女子争覇
優勝 団体

第四十五回 全道学生弓道新人戦
優勝 猪早 茜

第五十四回 札幌市民大会
準優勝 齊藤 真衣

平成二十五年度
中央地区弓道大会
優勝 保木映路子

準優勝 齊藤 真衣

平成二十五年度
北海道弓道連盟中央地区弓道選手権大会
準優勝 齊藤 真衣

準優勝 齊藤 真衣

【少林寺拳法部】

第四十二回 北海道少林寺拳法学生新人大会
自由単独演武 初段の部
二位 高桑 貴紀

東日本大震災復興支援
少林寺拳法 第四十四回北海道学生大会
初段の部 男子
二位 高桑 貴紀

【卓球部】

第八十回 全日本学生卓球選手権大会
北海道予選
女子シングルス
優勝 鈴木 杏奈

【チアダンス部】

ALL JAPAN
CHER DANCE
CHAMPIONSHIP 2013
出場

【軟式庭球部】

第六十八回 三笠宮賜杯
全日本学生ソフトテニス選手権大会
出場

【羽球部】

二〇一三年度 第六十回
北海道学生バドミントン会長杯争奪戦選手権大会
準優勝 田中 貴浩

【バレーボール部】

秋季リーグ
女子三部 二位
男子二部 一位

【ハンドボール部】

第三十五回 ミニニカップ
平成二十五年度 東日本学生ハンドボール選手権大会
出場

【フットサル同好会】

第九回 全日本大学フットサル大会
出場

【陸上競技部】

第三回 秩父別産
新米普及マラソン大会
〈男子3km〉
二位 菊池 慶祐

第四十二回 北海道学生
陸上競技選手権大会
〈男子砲丸投げ〉
二位 齊藤 和也

第六十八回 空知陸上競技
選手権大会
〈男子 八〇〇m〉
一位 杉野 伸樹

〈男子 一五〇〇m〉
二位 杉野 伸樹

〈男子砲丸投げ〉
二位 赤坂 大地

〈女子やり投げ〉
一位 堀内 美里

鶴川しゃもファミリー
駅伝大会
〈男子3km〉
一位 菊池 慶祐

【武田流中村派白気道部】

第十四回 新人戦 兼
第十回 北海道学生選抜
合気道大会
〈新人部男子打込乱取試合〉
優勝 桐溪 昂平

〈新人部女子打込乱取試合〉
優勝 立浪 百華

【映画研究会】

NHK全国大学放送
コンテスト
本選出場

【演舞同好会】

すすきの祭り
優勝

千歳トーナメント
準優勝

【放送研究会】

NHK全国大学放送
コンテスト
本選出場

【簿記研究会】

全国大学対抗簿記大会
出場



本日から同窓会の一員となられた皆様、ご卒業おめでとうございます。現在、同窓会では若い世代の方々の力が弱まっています。卒業されてから、忙しい日々の中で大学の事を思い出す時間が無いかと思えます。また、新天地で生活をされて住所変更をされていない方が多くいらっしゃいます。ぜひ、同窓会事務局へご一報ください。いつまでも、北星は貴方の母校であり、同窓会は貴方の隣人です。

「大谷地だより」は同窓生への情報発信の一つです。一人でも多くの方に今の大学を知ってもらい、同窓会を知ってもらおうことでより一層皆様の励みになることを祈っております。今号では、例年十月の第三土曜日に行われる総会・懇親会の報告をいたしました。この場も同窓生同士が交流を持つ貴重な機会です。歳の差を気にせず、ぜひご学友をお誘い合わせの上、ご参加ください。

(同窓会事務局 山下)

